

エコライフ・フェア 2010 開催の基本的な方針

環境省

1. エコライフ・フェアとは

エコライフ・フェアは、毎年6月の環境月間に全国各地で展開する様々な行事の中の主たる行事の一つとして1990年以来、環境省（環境庁）、関係地方公共団体、関連法人、業界団体、企業及びNGOが連携し実施してきました。ここ数年は、環境の日（6月5日）前後の土曜日、日曜日の2日間、東京・渋谷の代々木公園ケヤキ並木・イベント広場を会場に開催しています。

我が国は、温室効果ガスを2020年までに1990年比で25%削減する目標を掲げ、そのために地球と日本の環境を守り、未来の子どもたちに引き継いでいくための行動を、「チャレンジ25」と名付け、あらゆる政策を総動員して進めているところです。また、本年10月に生物多様性条約第10回締約国会議（国連地球いきもの会議（COP10））が名古屋で開催され、生物多様性を守る取組を国内外で強化していく必要があります。

これらを始めとした環境問題に対して、人々を理解・意識の段階から実際の行動へと導くきっかけとなる場を提供し、我々の生活様式及び経済社会活動を環境にやさしいものとすることをめざすものとします。

2. エコライフ・フェア2010の開催に当たって

○基本コンセプト

一定の関心ないし潜在的な関心がある家族や友人グループ、個人が、科学的な知見や楽しく体験や体感することなどを通じて、環境問題への関心を高め、行動をとるきっかけを提供するものとします。

その際、以下の事項を踏まえることとします。

- ・温暖化対策、生物多様性の保全等を始めとした環境問題について「気づき」から「行動」へと導く。特に持続可能な社会づくりに求められるライフスタイルの見直し等の行動を、より一層促進させることをめざすものとする。
- ・環境省、企業、NGO、マスコミ、研究機関などが協力・連携して実施する。
- ・実施・運営に当たっては、環境への負荷をできる限り回避・低減する。

以上を踏まえて、参加者が創意工夫し、柔軟に参加できるフェアとします。

3. 開催概要

タイトル エコライフ・フェア2010

開催期日 平成21年6月5日（土）、6日（日）

会 場	代々木公園 ケヤキ並木（NHKホール前）／イベント広場
主 催	環境省
共催（予定）	東京都、渋谷区
後援（予定）	文部科学省、経済産業省、国土交通省、東京都教育委員会、渋谷区教育委員会、（社）日本新聞協会、（社）日本民間放送連盟
協力（予定）	日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、日本生活協同組合連合会、東京都生活協同組合連合会、東京急行電鉄（株）、京王電鉄（株）、グリーン購入ネットワーク、（株）エフエム東京
事務局	（株）ジェイコム
予想入場者数	6万人
入場料	無 料

4. 内容

（1）会場の構成

企業・NGO等の出展と、主催者企画（出展及びステージ）から構成します。その際、フェアの基本コンセプトにあうような出展内容となるよう、各出展者に検討を依頼します。展示内容は、「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」づくりに焦点を当てるとともに、環境問題について身近な視点から理解でき、政策や一人一人がとるべき取組をわかりやすく解説するような企画、展示等を行います。実施・運営に当たっては、環境への負荷をできる限り回避・低減します。

（2）構想している出展内容

① 出展エリア

低炭素社会、循環型社会、自然共生社会づくりについて、最新の科学的知見や、国内での各主体による取組の推進、国際的な連携などを紹介し、各主体が協力して、人々の生活様式や経済社会活動全体を環境にやさしいものとし、ひいては持続可能な社会作りへの取組につながるような企画を重視します。

② ステージ

一般の来場者にわかりやすくエコライフを伝えるために、著名人のトークショーやコンサートなどを行い、より身近に環境問題を考えるきっかけづくりの場や、より関心のある層向けに、理解を深める内容で構成します。

③ 飲食物の販売エリア

ご家族づれの方々にも楽しんでいただけるよう、飲食物の販売コーナーを設けます。素材からエコロジーの意識を持ってもらうオーガニック系の素材を中心とした飲食の提供を行う予定です。また、洗浄カーを準備し、リユース食器、リユースカップを使用し、来場者が洗浄、返却するディッシュ・リユースのシステムの実践など、エコライフ・フェアの名にふさわしいものにします。

5. その他

○留意事項

エコライフ・フェアの目的、基本コンセプトの達成度合いを把握し、より効率的な実施を図るため、来場者アンケート等を通じて、来場者数、来場者の性別・年齢・職業等を調査、集計します。

○環境配慮

エコライフ・フェアの実施、運営に当たっては廃棄物の発生を最小限にとどめ、また、発生した廃棄物は、可能な限りリサイクルに回す。また、グリーン電力の利用など環境に配慮した取り組みを実施します。